

講義コード	11C0227700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	兼頭 ゆみ子	開講期	通年																														
科目名	法学																																						
履修前提条件						備考																																	
授業の目的	法は、国家の構造、個人の日常生活、国際社会といった様々なレベルの様々な事象を規律しています。この講義では、法学の基本的な考え方、法の構造、私たちの生活や社会にかかわるいくつかの法律について学習し、社会における法の位置づけ、役割について理解することを目的とします。学習を通じ、私たちの社会の基本的なルールがどのようになっているか、どのような点で問題があるのかを考えていきます。																																						
到達目標	法学の基本的な考え方を理解し、六法の基礎および経済社会に関わるその他の法制度の構造、基本概念を理解することができる。現実の社会問題を、法的観点から考察できるようになる。																																						
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。法律の中には、一般社会で使われる言葉でも別の意味で用いられたり、また、特殊な用語やその法律独自の思考方法があります。そのため、復習を重点的に行うこと。さらに、日頃から新聞などで報道される社会問題に目を向け、自ら考える習慣をつけること。																																						
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】 導入：なぜ法学を学ぶのか</td> <td>【第16回】 行政と法① 基本的な考え方</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 法の概念① 法の分類、序列、歴史</td> <td>【第17回】 行政と法② 行政救済法</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 法の概念② 法の構造と適用・解釈</td> <td>【第18回】 裁判のしくみ① 民事裁判</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 憲法① 概要</td> <td>【第19回】 裁判のしくみ② 刑事裁判</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 憲法② 基本的人権1：様々な権利</td> <td>【第20回】 会社のしくみ① 総論</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 憲法③ 基本的人権2：人権保障の限界</td> <td>【第21回】 会社のしくみ② 株式会社の機関</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 憲法④ 統治機構</td> <td>【第22回】 経済法① 基本構造</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 民法① 家族法</td> <td>【第23回】 経済法② 独禁法違反行為</td> </tr> <tr> <td>【第9回】 民法② 財産法の枠組</td> <td>【第24回】 労働と法① 基本的な考え方</td> </tr> <tr> <td>【第10回】 民法③ 財産法1：物権</td> <td>【第25回】 労働と法② 各論</td> </tr> <tr> <td>【第11回】 民法④ 財産法2：債権</td> <td>【第26回】 消費者の保護① 民法と消費者</td> </tr> <tr> <td>【第12回】 刑法① 刑法思想と刑法の枠組</td> <td>【第27回】 消費者の保護② 特定商取引法</td> </tr> <tr> <td>【第13回】 刑法② 刑罰論</td> <td>【第28回】 環境問題と法① 環境法の発展過程と基本構造</td> </tr> <tr> <td>【第14回】 刑法③ 犯罪論</td> <td>【第29回】 環境問題と法② 各論</td> </tr> <tr> <td>【第15回】 総括</td> <td>【第30回】 総括</td> </tr> </table> <p>講義はレジュメに沿って行います。参考文献は適宜指示します。</p>									【第1回】 導入：なぜ法学を学ぶのか	【第16回】 行政と法① 基本的な考え方	【第2回】 法の概念① 法の分類、序列、歴史	【第17回】 行政と法② 行政救済法	【第3回】 法の概念② 法の構造と適用・解釈	【第18回】 裁判のしくみ① 民事裁判	【第4回】 憲法① 概要	【第19回】 裁判のしくみ② 刑事裁判	【第5回】 憲法② 基本的人権1：様々な権利	【第20回】 会社のしくみ① 総論	【第6回】 憲法③ 基本的人権2：人権保障の限界	【第21回】 会社のしくみ② 株式会社の機関	【第7回】 憲法④ 統治機構	【第22回】 経済法① 基本構造	【第8回】 民法① 家族法	【第23回】 経済法② 独禁法違反行為	【第9回】 民法② 財産法の枠組	【第24回】 労働と法① 基本的な考え方	【第10回】 民法③ 財産法1：物権	【第25回】 労働と法② 各論	【第11回】 民法④ 財産法2：債権	【第26回】 消費者の保護① 民法と消費者	【第12回】 刑法① 刑法思想と刑法の枠組	【第27回】 消費者の保護② 特定商取引法	【第13回】 刑法② 刑罰論	【第28回】 環境問題と法① 環境法の発展過程と基本構造	【第14回】 刑法③ 犯罪論	【第29回】 環境問題と法② 各論	【第15回】 総括	【第30回】 総括
【第1回】 導入：なぜ法学を学ぶのか	【第16回】 行政と法① 基本的な考え方																																						
【第2回】 法の概念① 法の分類、序列、歴史	【第17回】 行政と法② 行政救済法																																						
【第3回】 法の概念② 法の構造と適用・解釈	【第18回】 裁判のしくみ① 民事裁判																																						
【第4回】 憲法① 概要	【第19回】 裁判のしくみ② 刑事裁判																																						
【第5回】 憲法② 基本的人権1：様々な権利	【第20回】 会社のしくみ① 総論																																						
【第6回】 憲法③ 基本的人権2：人権保障の限界	【第21回】 会社のしくみ② 株式会社の機関																																						
【第7回】 憲法④ 統治機構	【第22回】 経済法① 基本構造																																						
【第8回】 民法① 家族法	【第23回】 経済法② 独禁法違反行為																																						
【第9回】 民法② 財産法の枠組	【第24回】 労働と法① 基本的な考え方																																						
【第10回】 民法③ 財産法1：物権	【第25回】 労働と法② 各論																																						
【第11回】 民法④ 財産法2：債権	【第26回】 消費者の保護① 民法と消費者																																						
【第12回】 刑法① 刑法思想と刑法の枠組	【第27回】 消費者の保護② 特定商取引法																																						
【第13回】 刑法② 刑罰論	【第28回】 環境問題と法① 環境法の発展過程と基本構造																																						
【第14回】 刑法③ 犯罪論	【第29回】 環境問題と法② 各論																																						
【第15回】 総括	【第30回】 総括																																						
成績評価の方法	中間試験（50％） 学年末試験（50％）																																						
フィードバックの内容																																							
教科書	『デイリー六法 2017 平成29年版』 鎌田 薫 [編集代表]（三省堂）2016																																						
指定図書																																							
参考書																																							
教員からのお知らせ																																							
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。																																						
その他																																							